

川内町誌



川 内 町

明河山産木葉石

(愛媛の面影所載)

序

昭和三十一年九月一日、新川内町が発足した。この「川内町誌」はその記念事業の一つとして編集刊行されたものである。編集の期間が短かつたためもあつて、この町誌、理想的な郷土誌では勿論ない。幾多の誤謬や欠陥がそこにあることと思う。でも、いままで発見された文献や資料は一つも見逃がすことなく、またどんな些細な口碑伝説でも、それをすべて生かしたつもりである。

「故きを温ねて新らしきを知る」と云う言葉があるが、わが川内町民の生活文化が古い過去の時代から如何にして今日の発展を来たしたか、また我々祖先が、封建及び封建以前の時代に於て、如何に厳しくその生活を闘いとつて来たかを究め、更に将来この新町の発展を如何に方向づけ、如何なる方策をとつたらいゝかについて、この川内町誌が一つの大きな示唆を与えてくれることを私は確信する。

最後に本書編さんに努力せられたる委員各位と最後まで監修出版に努力して下さつた北川淳一郎氏とに深甚の謝意を捧げる。

昭和三十六年三月二日

川内町長 大窪晴市

目次

第一篇 地域社会の概観

第一章 位置、地勢、境界、面積、地質	一
第二章 区画	五
第三章 気象	五
第四章 生物	八
第五章 災害	九
第六章 人口	一〇

第二篇 川内町の誕生

第一章 川内町の沿革	一三
一、三内、川上両村の合併	一三
二、三内村川上村合併促進協議会	一四
1、三内村川上村合併促進協議会委員名簿	一四
2、村の合併に関する協議会協議事項	一六
三、三内村川上村合併促進協議会専門委員会	一七
四、三内村川上村合併促進協議会経過	一七

(1)協議事項 (2)部落懇談会

五、村名決定..... 一

(1)村合併弘報 (2)村名募集当選決定 (3)温総第二九〇号

六、新村建設計画..... 二〇

七、新村「川内村」の現況（昭和三〇年三月調査）..... 二一

八、滑川及び明河の一部編入..... 二四

九、川内町の発足..... 二四

第三編 川内町の歩み（新町建設計画実施状況）

第一章 基本構想..... 三

1、人口、雇傭、所得及び生活水準に関する構想 2、土地利用の高度化、その他、立地条件の整備及び産業の振興に関する構想 3、道路其の他土木交通通信施設の整備に関する構想 4、教育文化厚生に関する構想 5、財政及び金融に関する構想

第二章 政 治..... 三六

一、川内村(町)自治関係者、村(町)議会議員..... 三六

二、行 政 機 関..... 四〇

三、川内町役場処務規定..... 四〇

四、川内町役場庁舎建築..... 四三

五、川内町表彰さる..... 四四

第三章 財政状況	四
一、歳入状況	四
二、歳出状況	四
第四章 諸官署の整備充実	七
一、松山地方事務局川内出張所	七
二、松山地方事務局川内出張所庁舎の建築	七
三、県営重信川流域治山事務所、温温郡治山事務所の概況	九
四、松山営林署川上担当区事務所（大字南方市場）	一〇
（一）担当区内の概要	一〇
（二）事業概要	一〇
（三）労務関係の概要	一〇
（四）管理組織	一〇
第五章 交通、通信	一三
一、道路、橋梁その他土木施設の整備	一三
1、国道十二号線改修工事	一三
2、其他	一三
3、橋梁	一三
二、建設省国道十一号線工事事務所	一三
三、川内郵便局の概況	一四
1、川内郵便局の沿革	一四
2、川内郵便局の年表	一四
3、川内郵便局現勢一覧表	一四
第六章 産業開発に関する事項	一五
一、川内町農村振興基本計画	一五
二、第二年度	一五

三、今後の課題……………	五
四、川内町農村青年建設班……………	六
五、農業委員会……………	六一
六、川内町の商工業（昔と今）……………	六三
七、川内町商工会（現況）……………	六四
第七章 教育文化施設の統合整備 ……………	六五
一、統合川内中学校建築……………	六五
1、川内中学校建設費調……………	六五
2、生徒収容状況……………	六六
3、昭和三十三年生徒の動向……………	六七
二、教育委員会……………	六九
1、川内村教育委員会……………	六九
2、川内町教育委員会……………	七〇
三、川内町青年団……………	七一
四、川内町婦人会……………	七二
第八章 消防施設の整備統合 ……………	七三
一、川内町消防団条令……………	七三
二、消防団役員……………	七四
1、消防団員（各分団班別）現在数……………	七四
三、設備事項……………	七五
1、本分団消防備品一覽表……………	七五
2、各分団消防備品一覽表……………	七六
3、臧置所……………	七七
4、警鐘台……………	七八
5、防火水槽……………	七九
6、詰所……………	八〇

7、各分団管内世帯数及び人口調（昭三三・一〇月末）

四、川内町消防団表彰さる……………七

第九章 衛生施設の整備統合……………六

一、川内町国民健康保険……………七

1、川内町国民健康保険事業 2、川内町直営診療所

二、川内町母子衛生実践会……………七

第十章 厚生施設の整備充実……………六

一、川内公園……………六

二、社会福祉……………三

(一)生活保護 (二)児童福祉 (三)身体障害者福祉 (四)共同募金 (五)民生委員、児童委員

三、川内町敬老会……………五

1、川内町敬老年金給付条例

四、川内町老友会……………六

五、川内町遺族会……………七

六、川内町忠霊塔附属設備の建設……………七

第十一章 川内町神社仏閣……………六

一、川内町神社総覧……………六

二、川内町寺院総覧……………六

第一部 川 上

第一編 自然誌

第一章 位置、面積 一九

位置・境界・区画・面積

第二章 地勢、地質 二九

総説、山、川、池と水利、菖蓄堰の定法、地質

第三章 気 候 二八

1、総説 2、気温 3、降水量 4、風 5、天気 6、雑象 7、気象に関する俚諺

第四章 変 災 二六

飢饉、旱害、水害、地震、火災

第五章 生 物 二〇

本村の生物、動物、植物、天然記念物オキチモズク

第二編 人文誌

第一章 沿 革 二七

(一)村のあけぼの (二)拓けゆく村 (三)にぎわう 駅路 (四)新しい村づくり (五)新しき村へ
小字の由来、各村の大手鑑、明治五年壬申庄屋戸籍

第二章 人口、戸数 二九

一、人口 二、戸数

第三章 政 治 一七一

(一) 川上村役場の沿革 一七一

川上村自治関係者歴代表(村長、助役、収入役) 川上村自治関係者名誉職村公議員

(二) 川上村駐在所 一九三

(三) 登 記 所 一九三

四 厚生 事 業 一九三

川上村託児所

第四章 經 済 一九六

財政、経済的地位、耕地と農家、米作及麦と雑穀、果樹、工芸作物、野菜、養蚕、牧畜、林業、商工業、金融、貯蓄運動

第五章 教 育 二二一

寺小屋教育、川上小学校年表、川上小学校のうづりかわり、川上小学校の現状、青年教育、川上村松瀬川小学校、教育委員会、川内町の私立学校、川上保育園

第六章 宗 教 二四六

神 社 二四七

川上神社、五柱神社、一の宮三島神社、揚神社、森正八幡神社、吉井神社、熊野神社

仏 閣 二六二

医王寺、岡之坊、上福寺、大興寺、南昌寺、応観寺、長泉寺、中山寺

日本キリスト教団川上教会・天理教川上分教会・金光教川上教会 二六六

第七章 民俗……………二六六

衣食住、祖先の祭祀、年中行事、郷土の伝説、川上村に伝わる迷信、民謡、事物の変遷、川上村民の氣質

第八章 保健、衛生……………二六六

(一)幕末維新川上村衛生状態 (二)近世の保健状態 (三)伝染病 四本村に關係ある医師、齒科医師、薬剤師一覽表 (四)保健施設(火葬場、避病舎) (六)埋葬墓地一覽表

第九章 交通、通信……………二五四

道路、交通機關、通信、川上郵便局所在地一覽表

第十章 各種団体……………三〇一

(一)農業協同組合 (二)川上村消防組 (三)川上村婦人会 (四)川上村青年団 (五)川上村商工会 (六)川上村森林組合 (七)川上村酪農組合 (八)川上村園芸組合 (九)川上村煙草耕作組合 (十)川上村遺族会 (十一)川上PTA

第十一章 名勝旧跡……………三二一

五柱神社、長福寺、桜三里、大松田峠、鳥越坂、上福寺、吹上池、黒穂池、船野砦、大興寺、阿弥陀堂、自性庵、茶堂、夷子宮、天神宮、応觀寺、川上神社、川上駅、善願寺庵、鎮守社、山椒崖、法界門橋、重信川、塩ヶ森城、南昌寺、揚天王宮、医王寺、片山、西法寺、和田様、苔谷焼、神明様、一の宮三島社、菖蒲関、熊野神社、地藏堂、森正八幡宮、長泉寺、吉井神社、お吉泉、大西靈神、森天神様

第十二章 人物小伝……………三四四

城長州、城哲三、野口盛芳、野口芳躬、渡部喜一郎、渡部蔵五郎、豊竹村太夫、頭取小松川、渡部豊三郎、玉井正興、仙波良太郎、仙波寛三郎、藤井繁太郎、田中藤十郎、仙波茂三郎、仙波秀一、松木喜一、寺田さだ春日山、城ノブ

日露戦争大東亞戦争戦歿者及遺家族名……………三三三

第二部 三 内

第一編 自然誌

第一章 位置、境界	三六
第二章 地形、地質	三六
第一節 山脈	三六
第二節 河川	三〇
第三節 地質	三三
第四節 鉱物	三三
第三章 面積	三三
第四章 区劃	三四
第一節 穂の木	三四
第二節 小字の由来	三六
第五章 気象	三九
第一節 気温	三九
第二節 降水量	四〇
第三節 天候に関する俚諺	四一

第六章 生 物 三四

第一節 動 物 三四

第二節 植 物 三四

第三節 我が村の老木 三四

第七章 変 災 三五

第二編 人 文 誌

第一章 沿 革 三五

第一節 王朝、武家、藩政時代 三五

久米郡手鑑（河之内村） 三六

久米郡手鑑（則之内村） 三七

豫州松山領大鑑（井内村） 三七

則之内村庄屋宇和川氏のこと 三八

井内村庄屋戒能氏のこと 三八

戒能略譜 三八

河之内庄屋山内氏戸籍 三五

第二節 明治維新以後 三六

- 一、百姓一揆
- 二、戸長時代
- 三、自治制時代
- 四、区制
- 五、道路の開通
- 六、区有財産の統一
- 七、大正時代

八、大戦 九、終戦以後

第二章 人口、戸数 三九五

一、人口の推移 二、人口構成 三、産業別人口

第三章 政治、財政 三九七

第一節 政治 三九七

一、三内村区会のこと 二、村是 三、歴代自治関係者一覧 四、警察

第二節 財政 四一七

一、一般的事項 二、村財政の特色

第四章 経済（産業） 四三

第一節 村の農業 四三

第二節 農家戸数と経営規模 四四

第三節 農業生産状況 四七

一、堰 二、溜池 三、調停書

第四節 換金作物 四一

第五節 地益及び土地の売買 四三

第六節 村の林業 四三

一、林野面積 二、林業戸数と所有規模 三、林産物生産状況 四、造林と植伐均衡 五、苗木の需給
六、森林組合 七、山林と耕地の所有関係 八、村有林の経営管理 九、伐採と収入 一〇、私有林

第七節 部落有財産統一の状況……………四〇〇

一、統一前に於ける部落有財産 二、村直營地の事業実行状況 三、村直營地外の經營 四、事業実行を
確實ならしめるため執りたる方法

第八節 村の商業と金融……………四〇四

第五章 教 育……………四〇七

第一節 初 等 教 育……………四〇七

一、沿 革……………四〇七

(一)寺小屋時代 (二)第一期明治以後 (三)第二期明治以後 四六三制 (四)教育委員会

二、初等教育学校年表……………四〇五

三、小学校学校林……………四〇五

第二節 青 年 教 育……………四〇六

第三節 社 会 教 育……………四〇九

第六章 宗 教……………四七一

第一節 神 社……………四七一

(一)三島神社 (二)総河内神社 (三)金刀比羅神社 (四)雨滝三島神社 (五)氏宮神社 (六)吉井神社 (七)三島神社

第二節 寺 院……………四七六

(一)安国寺 (二)金毘羅寺(河之内西国三十三番霊場巡り) (三)善城寺

第三節 天 理 教……………四八三

第四節 庵、小 社 四六四

- (一)大通庵 (二)月光山円満寺 (三)名越山金姓寺 (四)龍翁山觀音寺 (五)正六権現社 (六)虚空藏菩薩 (七)十一面觀世音
- (八)大元神社 (九)滝神社 (十)惣ヶ谷大森山吉祥寺 (十一)乘法華堂
- 旧井内村の古社寺について 伊豫の安国寺

第七章 保健、衛生 四九二

第一節 沿 革 四九二

第二節 三内村国民健康保険の歩み 四九五

第三節 衛生の 發達 四九六

- (1)埋葬墓地管理者名簿 (2)火葬場 (3)獸畜埋歿場

第八章 交 通 五〇〇

第一節 明治三十五年以前 五〇〇

第二節 明治三十五年以後 五〇一

- 一、東谷里道の改修 二、西谷里道改修 三、国道三二号線中山越開通 四、交通の变革 五、河之内間
- 屋部落のこと 六、木谷部落の移り変り

第三節 昭和四年以後 五〇四

- (一)三内村土木補助規則 (二)橋梁 (三)村内電話

第九章 厚 生 五二二

第一節 沿 革 五二二

第二節 社会福祉事業 五二五

(一)敬老会 (二)共同募金 (三)児童福祉 四身体障害者の福祉 (五)母子福祉

第十章 民俗（生活、風俗、習慣）

第一節 衣食住……………五七

第二節 祭祀……………五九

第三節 年中行事……………五〇

第四節 結婚改善、花嫁衣裳の制定……………五三

第五節 娯楽及び娯楽施設……………五三

第六節 伝説……………五五

第七節 方言……………五五

第八節 迷信、俚言……………五六

第九節 民謡と童謡……………五七

第十節 三内村民の氣質……………五三

第十一章 各種団体……………五三

第一節 産業関係団体……………五三

(一)三内村農業協同組合 (二)三内村森林組合 (三)三内村農業委員会 (四)三内農協婦人部

第二節 社会教育関係団体……………五四

(一)三内村婦人会 (二)三内村青年団

第三節 宗教的關係団体……………五四

(一)遺族会

第四節 其の他の団体

(一)三内村消防団 (二)三内東谷校PTA (三)西谷小学校PTA (四)土谷小学校PTA

五四五

第十二章 名所旧跡

一、小手ヶ滝城跡 二、大熊城跡 三、鳥屋ヶ森城跡 四、則之内燒窯跡 五、川上水力電気株式会社発
電所跡 六、安国寺跡 七、東倉さん 八、薬師堂(月光山円満寺) 九、大通庵 十、雨滝 十一、久
保野淵 十二、名越城 十三、七森城趾 十四、亀甲城跡 十五、曙橋 十六、桜三里の今昔 十七、黒
川通俊の墓 十八、鎌倉堂 十九、乳生さん 二〇、とうばんさん 二一、風宮さん 二二、白猪、唐岬
の瀑布 二三、松根東洋城句碑 二四、塩ヶ森城跡

五四九

第十三章 人物小伝

一、近藤林内是正 二、近藤金四郎 三、佐伯求四郎 四、宇和川浜蔵 五、近藤鑑 六、宇和川宇太郎
七、高須賀伊兵衛 八、渡部愛蔵 九、東岩吉 十、北川徳次郎 十一、北川正惇 十二、近藤涼杜
十三、大工彦六さん 十四、豊竹音羽太夫 十五、第三代竹本小梶太夫 十六、白戸小富士 十七、菅井
重郎 十八、中島七兵衛

五六三

戦歿者芳名録(日露戦争・大東亜戦争)

五六一

第三部 滑川・明河

第一編 自然誌

第一章 位置

五六五

第二章 地勢、地質

五六五

第一節	地勢	五五
第二節	地質	五六
第三節	田地と水利	五七
第三章	集落の形勢	五八
第一節	区劃、穂の木	五八
第二節	小字の由来	五九
第四章	気象	五九
第一節	降雨、降雪	五九
第二節	気象、気温	五九
第三節	風向	五〇
第四節	天候に関する俚諺	五〇
第五章	変災	五一
第六章	天然物	五二
	(1) 汐岳 (2) 面木山 (3) 焼岳 (4) 大杉 (5) 風穴	
第七章	生物	五三
第一節	動物	五四
第二節	植物	五四

第二編 人文誌

第一章 沿革	革	五九五
第二章 経済	一、総説 二、茶の栽培 三、楮 四、三椏 五、煙草 六、林業 七、製炭 八、養魚 九、商業	五九八
第三章 文化、教育		六〇一
第一節 学校教育		六〇一
一、学制以前の教育 二、滑川小学校の沿革 三、滑川小学校年表 四、滑川小学校の現状		六〇二
第二節 社会教育		六二一
第四章 宗教	白山神社、総河内大明神社、光明寺、昌禪寺、天理教滑川布教所	六二四
第五章 保健、衛生		六二六
第六章 生活、風俗、習慣		六二六
一、風俗習慣 二、食事 三、住居 四、婚姻 五、葬儀 六、盆踊 七、正月行事 八、秋祭 九、方言		六二六
十、滑川の歌舞伎芝居 十一海上の万才 十二、滑川七人みさきの墓 十三、電灯		六二六
第七章 各種団体		六三三
一、青年団 二、消防団		六三三
第八章 交通、通信		六三三
一、交通 二、通信 三、橋梁		六三三

第九章 名所旧跡…………… 六三〇

一、汐ヶ嶽 二、面木山 三、つゞみ岳と鹿島神社 四、駒頭城 五、鎮西八郎為朝の墓 六、九騎峠
附録 滑川部落議會議員名簿…………… 六三七

戦歿者芳名録（日露戦争・大東亜戦争）…………… 六三六

追 録

一、道前道前水利開発事業について…………… 六三〇

二、愛媛県林業指導所…………… 六三一

三、川内町中学校体育館並びに講堂の建築…………… 六三三

四、割石山国有林の払下げ…………… 六三五

五、白猪、唐岬の滝…………… 六三六

跋

写真版

川内町地質図	四	愛媛県地質略図	二〇六
川内町役場庁舎	四	地質図	二〇七
高松宮殿下御来庁	四	洪谷川と扇状地	二〇七
国務大臣自治庁長官表彰状	四	年平均気温図	二〇八
松山地方法務局川上出張所	四	全年降水量	二〇九
川内 橋	五	湿度図	二一
法界門 橋	五	川上村の気温と降水量	二二三
川内中学校	五	大宮社内及北方古墳群見取図	二二七
川内町消防団表彰状	七	川上神社裏古墳出土品	二二八
厳寒の白猪ノ滝	八	明治以前の川上駅及屋号	二二八
川内公園吹上池	八	川上村役場	二二七
松山観光ゴルフ場	八	川上小学校校舎変遷図(1)	二二九
川上村附近地勢略画	九	川上小学校校舎変遷図(2)	二三〇
吹上池 附近	九	川上村立川上小学校正面	二三〇
菖蒲 環	九	川上神社	二四
吹上池見取図	一〇	後円部古墳内部と埋葬品位置図	二五一
西組庄屋池、原組庄屋池	一〇	前方部古墳内部と発掘当時の状況図	二五一
原上池、原中池、黒穂池、長谷池、笠張池	一〇	五柱神社	二五
荅谷池と笠坪池附近山林地図	一〇	三島神社	二五
川上村の水利略図	一〇	揚神社	二五
		森正八幡神社	二五
		吉井神社	二六〇
		熊野神社	二六〇

医王寺の仁王門	二六二
岡之坊	二六二
上福寺	二六三
大興寺山門	二六三
南昌寺	二六五
応観寺	二六五
長泉寺	二六五
中山寺	二六六
西法寺墓	二七三
川上神社の北に在る物部塚、在原塚	二七七
川上中之町旧道入口金毘羅道標	二七四
川上村道路要図	二九五
温泉郡三内村平面図	三二九
山椒ヶ崖の浸蝕作用	三三〇
三内村地質図	三三一
愛媛県地質略図	三三三
金毘羅さんの大杉	三三九
ヒヨンの木の小枝(いすの木)	三四九
三内村旧地図	三五五
河之内土谷肥草刈山の入山鑑札	四三三
窪野のくりぬき水路	四三三
三内村有林分布図	四三六
大正二年度三内第一尋常高等小学校秋季大運動会	四三九

三島神社	四七二
惣河内神社	四七三
氏之宮三島神社	四七六
吉井神社	四七七
土谷三島神社	四七七
安国寺の山門	四七九
安国寺須弥壇	四七九
金毘羅寺仁王門	四八一
安国寺藏古文書足利尊氏公知行状	四八八
松山藩一里塚	五〇〇
近藤林内翁宅	五二四
昔の農家の糶蔵	五二九
近藤林内翁の墓	五三〇
近藤金四郎胸像	五三〇
忠霊塔	五四四
東谷小学校水泳プール	五四七
小手滝城跡石垣の一部	五四九
池がなる	五五〇
則之内焼竈跡	五五一
井内中野薬師堂の仏像	五五二
桜三里街道曙橋	五五五
氷柱の白猪の滝	五五〇
松根東洋城句碑	五六一

鎌倉竈跡北条祠碑石	五六二
川上村、三内村歴代村長	
滑川地方略図	五六六
滑川部落地質図	五六七
月別平均気温図	五九〇
滑川小学校地変遷図	六〇二
白山神社	六一四
惣河内神社	六一五
光明寺の遠望と大杉	六一五
愛媛県林業指導所の遠望	六三三
育種用温室	六三三
建築完成した川内中学全景	六三三
川内中学校体育館	六三四
割石山樹海の一部	六三五
割石山の林相	六三六
白猪澆	六三七
唐岬の滝	六三八